

ごあいさつ

「豊かな社会の実現に向けて」

近年、環境問題に対する社会的な認識が高まり、様々な環境規制が実施される等、環境問題に対する物流企業の姿勢が非常に厳しく問われている中、当社では昨年6月に第三回「物流環境大賞」を受賞し、また初めての環境報告書である「環境アニュアルレポート」を発行いたしました。

これもひとえにお客様、取引先の皆様のご理解とご協力により実現できたことであり、ここであらためてお礼申し上げます。

さて、当社の活動を振り返ってみますと、地球環境問題のうち特に社会より効果的な対応を求められ、また当社の環境管理活動の最重要項目となっている地球温暖化防止については、輸配送によるCO₂の発生を低減する活動を進め、効率的な輸配送ネットワークを実現すべく積極的な活動を推進し、年々着実に成果をあげています。

また、包装資材の削減(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)のいわゆる3Rについては過去10年以上にわたり施策を実施し、再利用と再資源化の達成率は合わせて98%以上となっています。現在は使用量の削減に重点をおき、さらなる省資源化を進めています。

さらに、本年10月より施行される、首都圏一都三県におけるディーゼル車規制条例への対応については、昨年度中に当社で保有するトラックの全てに微粒子除去装置(DPF)の取り付けを完了しました。

以上のように様々な施策を通じて、環境問題に貢献すべく努力を続けています。

今後は、ますます環境問題に関する対応が物流企業として求められていくと考えています。

当社ではこれからも、物流業界に対する社会全体のさらなる要望に応えるべく、また一企業市民として「豊かな社会」・「循環型社会」の実現のために、これまで以上に環境管理活動を積極的に進めていきます。

最後に、みなさまにおかれましては引き続き当社の環境に対する取り組みについて、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2003年10月

NECロジステクス株式会社

社長 古勝 紀誠

